

みなさん、こんにちは。県立生涯学習推進センターメルマガ担当です。
なんと、今日の発行番号は「第777号」です！なにか、いいことがありそうな「ひな祭り」
です(*^^*)

「ひな祭り」と言えば…我が家の娘にひな人形を買ってくれたのは、実家の祖父母でした。
私たち姉妹に、ひな人形を買ってあげられなかったからと言って、孫である私の娘に買って
くれることになりました。一緒に買いに行ったときに、その種類の多さにはびっくりしまし
た。飾るときや片付けるときに大変じゃないものかと思っていましたが、学校などで飾るひ
な人形は七段飾り等の赤い毛氈のものだったので、ひな人形＝赤い毛氈というイメージが
私の中にはありました。そして、数あるひな人形の中から、赤い毛氈の三段飾りのひな人形
に決めました。一段目が、お内裏様とおひな様、二段目に三人官女、三段目にお道具類、と
いう配置です。娘に買ったものでしたが、自分におひな様を買ってもらったようにうれしく
て、忙しくても、毎年、飾ってきました。

娘が保育園やあちこちで他のひな人形を見るようになったある日のことでした。
「なんで、うちには五人囃子がいないの？」と娘。(以下、心の声)『え？なんで、五人囃子
がいないかって？！それは予算の関係ではと言えないし(^_^;)…、飾るスペースの関係で
と言ってもわからないだろうし(^_^;)…、えーなんて答えたらいいの～？』
私は、苦しまぎれに「五人囃子は、楽器をもっているでしょう。夜中に楽器の演奏をしたら、
みんな目を覚まして困るよね。だから、五人囃子のいないおひな様を買ってもらったんだよ」
と娘に言いました。娘も幼かったので、その時は「ふーん。そうなんだ」で終わりました。
その後、ひな人形を飾るときには必ず「五人囃子がいないのは、夜中に楽器の演奏してうる
さいからだよね～」という話になり、高校生となった今では、含みをもった言い方で言える
娘となりました(^_^;)

振り返ってみると、ひな人形を飾ることと共に成長を感じてきました。三段飾りの前で、「ひ
なまつり」の歌を4番まで熱唱していた娘も、先日は、「自分がこの家を出ていったら、こ
のひな人形はどうなるの？」とっていました。五人囃子の話をしながら、ひな人形を飾る
ことができるのも、あと2回？かもしれないと思うと、こういう時間を大切にしたいと思う
今日この頃です。子どもが小さい頃は、子育ての大変な日々がまだまだ続くと思っていまし
たが、残りが少なくなってくると、一日一日がとても貴重に感じます。

☆子育てに関する悩みを一緒に考えます☆
子育て電話相談「すこやかダイヤル」 0198-27-2134
☆メルマガへのご感想、アドレス変更・配信停止はこちらへ(^_^)/
kosodatem@pref.iwate.jp

★=====★
【発行・文責】岩手県立生涯学習推進センター

【HP】 <http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>

【Facebook】 <https://www.facebook.com/manabinetiwate/>

【Twitter】 <https://twitter.com/manabinetiwate>

★=====★